

2026.2.9

Q: 第 4 四半期における経常利益の積み上げ方の想定および通期経常利益目標に対するスタンスについて伺いたい。

A: 通期経常利益目標については、33 億円をコミットしたい。達成に向けて、第 4 四半期に約 11 億円の利益の積み上げが必要と認識しており、そのために経費の圧縮および資産運用による収益確保を行っている。経費圧縮については、アクサダイレクト契約移管に伴う手数料の剥落に加え、人員を増やさず AI 等による自動化を進めることで、人件費を含む販管費の効率化を図っている。資産運用については、インカム収益に加え、足元の市場の好況を踏まえたキャピタルゲインの獲得も行っており、これらを通じて 33 億円の達成を目指す考えである。

Q: ワイドタイプおよびスタンダードタイプの保険料改定方針について伺いたい。

A: 2026 年 6 月に予定しているワイドタイプの保険料改定については、全体で約 12% の値上げを予定している。ワイドタイプは既に新規販売を停止しており、契約件数は全体の 1 割弱、保険引受収益に対しては約 15% 程度を占めている。スタンダードタイプについても保険料改定は選択肢の一つとして検討しているが、競合各社との関係や優良契約者の離脱リスクを踏まえ、慎重に検討している。また、損害率改善については、保険料改定だけでなく、医療の高度化による高額化といった医療保険の構造上の課題への対応が必要であり、各施策を検討したうえで、来年度以降の事業計画に反映していく考えである。

Q: ESR 導入を踏まえた資本政策および株主還元の考え方について伺いたい。

A: 2026 年 5 月の決算発表時点では、一定程度 ESR の数値は把握できていると見込まれるため、ESR を踏まえた余剰資本の活用方針については、その際に開示することを想定している。余剰資本の活用については、自己株式の取得や配当といった株主還元策も含めて検討しているが、実施の可否については現時点では未定である。